

真誠

学校だより
No.9

西東京市立
田無小学校

令和7年
1月8日

令和七年を迎えて

校長 前田 元

新たな年を迎え、田無小の三学期が始まります。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

令和六年も、私にとって、初めてのことがたくさんあった一年でした。田無小学校での初めての展覧会、十一月に体育館の天井を見たときは、心が躍りました。学校運営協議会では、会議を重ねて、田無小学校の防犯キャラクター「たなっしー」「むささびくん」「さすまたくん」を作り、ワッペンとして制作することができました。



では、今年は、どうなるのでしょうか。間違いなく言えることは、子どもたちは成長していくということです。子どもたちは、一年で見違えるほど大きく成長していきます。そして、どの子も、自分のいいところを見つけたら、大きくしたりして成長していくてくれる点が子どもたちのすごいところです。我々大人は、する賢くなったり、要領だけよくなったりだったりしますが、どうして子どもたちは、良いところを成長させていけるのだろうかと思いに思います。

みんなで素敵を見つける学校に

このことは、ご家庭や担任たち、そして、学校にいる仲間たちの影響があるのではないかと考えています。

子どもたち同士の様子を見ていると、「やっぱ○○さんは、うまいよな」といったつぶやきを聞くことが多くあります。こうした言葉は、その子認めている、その子のことをすごいと思っている時によく聞かれます。

私は先生方に、「子どもたちをたくさんほめてください。」

と言いつけています。理由は、子どもたちには自分の可能性を明るく感じてほしいからです。努力したことがすべて報われるほど、世の中は甘くはありませんが、少しの失敗では揺るがないほど、一人一人の子どもの良さは素晴らしいものだし、可能性のあるものだと思うからです。

このことを、私たち一人で見つかることはとても難しいことだと思います。私自身、学生時代から、「どう頑張っても、この分野の学問ではかなわない」と感じる友とたくさん出会ってきました。教育学だけは誰にも負けなかったのにもかかわらずです。その友は、今では、母校の大学で教育学の教授を務めています。もう、長い付き合いになりました。今、その友と語らうときに交わされるのは、

「あれは、本当に○○にはかなわなかった。」

という私に対して

「何を言っているんだ、学生のときから子どもたちの反応のことを気にしていたのは、前田だけだったんだぞ。必死で、前田を論破するために文献を読んだんだ」

「え…そうだったの？そんな様子、一度もなかったのに…」

「俺だって、君に負けたくなくて必死だったんだ。」

こんなおじさんになってから、認められてもちょっとうれしくありませんが、あまりにうれしくて、未だにこの日のことを覚えています。ことほどさように、自分の良さというものは、自覚しにくいものだと思ふのです。

だからこそ、令和七年も、みんなで子どもたちの素敵なところを見つけ、精一杯認めていく、このことを継続する一年にしていきたいと思っています。

一月の主な行事予定

31	30	29	28	27	25	24	23	22	21	20	17	16	15	14	10	9	8
金	木	水	火	月	土	金	木	水	火	月	金	木	水	火	金	木	水
短なわキャンペン終 校内書写展終		歩行学習(わ) 予備日		市児童作品展終	土曜授業 土曜時程 道徳授業 おやじの会餅つきイベント	市児童作品展始	理科見学(4)	歩行学習(わ)	がん教育(6)	クラブ活動 クラブ見学(3) 短なわキャンペン始 校内書写展始	巡回型音楽鑑賞教室(5)	避難訓練			席書会二日目	水曜時程 安全指導 給食始 委員会 席書会一日目	始業式 午前授業

※今月のスクールカウンセラー来校日は10日、17日、24日、31日です。相談のある方は、来校日に直接又は、担任を通して申し込むか、来校日のAM9:00~9:20に463-5902(相談室直通)または学校に連絡してください。

展覧会を終えて

展覧会担当 黒川 幸太郎

十一月十四日（木）から十六日（土）の三日間に展覧会を行いました。図工室では、様々な工具を使った「木工工作」、彫刻刀を使った「版画」、陶芸粘土を使った「やきもの」の授業等、教室では経験できない様々な活動を通して、子どもたちの造形的な資質・能力の育成を図っています。造形表現には正解がありません。完成した作品の仕上がりのみではなく、活動の中で何を感じ、考え、発想を広げ深めながら、どのように表現したのかを重視して学習を進めています。今回の展覧会のスローガンは「世界に一つだけの個性をかがやかせよう」でした。昇降口から体育館まで学校全体を子どもたちの個人や共同で作った作品で彩りました。四年生の総合的な学習の時間の内容も加わり素敵な展覧会になりました。今後も、展覧会で学んだことを生かしてさらに成長していったほしいと願っています。保護者の皆様には、鑑賞時間など、たくさんのご理解とご協力をいただき誠にありがとうございました。

三つの「間」の充実 と 運動をする意義 体育専科 中川 広

田無小では、運動や体育は楽しい、運動する・身体を動かすことは大切だと思う子どもを増やすことを目標に教育活動を進めています。体育の授業では、校庭や体育館、様々な器具等を使って、多様な運動を経験させると共に、時期に合わせた特別な取組を行って、充実した「時間」と工夫した「空間」をつくるようにしています。また、クラス・学年等の「仲間」と身体を一緒に動かすことにより、自分の考えを伝えたり、仲間の考えを知ったりして、よりよいコミュニケーションの方法を学び、協力して課題を解決する活動を大切にしています。体を動かすことは、身体能力を向上させるだけでなく、物事に取り組む意欲や気力といった精神面の基礎づくりにつながるともいわれています。「運動するための体力」と「健康に生活するための体力」を高めて子どもが充実した生活を送っていけるように、学校、家庭、地域が一体となって子どもの成長を支えていきたいと思えます。今後ともご理解とご協力をお願いいたします。

短なわキャンペーン

体力向上部 松岡 澄実玲

一月二十日（月）から一月三十一日（金）にかけて、短なわキャンペーンを行います。これは、寒くなる冬場にも、日常的に運動に親しみずんば体を動かすことをねらいとする取組です。キャンペーン期間中は、全校で中休みに短なわ跳びを行います。

なわ跳び運動は、手軽にできて、確実に進歩し、回数の増加や技の獲得などを自ら把握できるという特徴があります。子どもたちが進んでなわ跳び運動に取り組み、運動の楽しさや課題を達成する楽しさを味わい、自主的に取り組むのに最適な運動だといえます。

音楽に合わせてなわ跳びを行い楽しく運動をすることに加えて、様々な技にも挑戦しながら活動を行います。なわ跳びを通して、持久力を高め、健康への意識も育てていきます。

食育授業公開

食育推進部 松田 めぐみ

十月十二日（土）に、田無小学校の特色ある教育の一つである、「食育」の授業を行いました。毎年、公開授業では、お箸の使い方や食事のマナー、栄養、食品ロスについてなど、いろいろな方向から、発達段階に合わせて工夫した授業を行っています。また、ティップネスの方を外部講師としてお招きして、栄養素や筋肉の働き、食品表示について三年生がご指導いただく機会もありました。

「食育授業」として公開を行うのは年に一回ですが、食に関する指導は、給食指導を中心に日々行っています。食事について考えるとき、何を食べるのかに加え、どのように食べるのかを考えることも大切です。今後も、子どもたちが、食に関心をもち、将来も健康で豊かな生活を送るために指導していきます。

ご家庭でも、折にふれて食について考える時間をもっていただけると幸いです。